



兵庫支部NEWS H24年 9月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)

ホームページ http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono メール hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座:00980-2-245822

口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

同窓会会費徴収及び使途検討委員会発足 安徳兵庫支部長が委員に就任

今年5月に開催された第1回評議会に於いて承認された[幹事長部門]の事業計画の一つとして、同窓会の充実と発展に向けて、支部からの参画も得て組織する「構想・計画の評価検討プロジェクトチーム」(仮称会長の諮問機関)により、現「長期構想」の再点検、見直しを行う事を決定している。(北友会会報106号参照)

それに基づいてこの程「同窓会会費徴収および使途検討委員会」(略称=会費徴収・使途検討委員会)が



会長諮問機関として発足し、第1回の委員会が9月1日に開催され、田村会長から同委員会に対し、「会費の未納解消および支部還元率」及び「支部の活動に対する助成制度」について意見

具申を要請する諮問書が提出された。
(田村会長) 同委員会は今後検討を重ねて具体案をまとめ、田村会長に答申する予定である。

因みに、8月1日現在の兵庫支部会員総数は754名、うち同窓会会費完納者は441名で完納率は58.5%であり、全国平均67.7%(但し物故者、住所不明者(安徳兵庫支部長)明者を除く)を下回り、全48支部の中で最低である。



沖縄支部が241名中211名が完納しており完納率は87.6%と断トツで1位、唯一の80%台を記録、70%台は15支部、60%台が圧倒的に多くて29支部あり、50%台は兵庫支部のほか、59.3%の神奈川支部そして59.9%の関西支部の3支部である。

同窓会会費は終身会費として20,000円となっており、分割納入も可能である。納入された会費の70%が支部活動助成費として支部に還元される。未納者には北友会会報6月発行分のみ同窓会会費振込用紙と共に送られている。(12月発行分は送られない)

委員会は本部から6名、各支部から6名が選任され岸野中間・遠賀支部長が委員長に、早水副会長が副委員長に選ばれた。委員は下記の通り

記

同窓会会費徴収および使途検討委員会

本部委員：早水弘明(39商) 副会長(組織対策)
鞘野 優(36商) 副会長(財務・会計)
延吉和典(43米英) 副幹事長
前島和也(55法) 副幹事長
野田栄市(47中国) 幹事(総務・企画)
坪根孝司(44商) 事務局長兼幹事(広報・情報)

支部委員：岸野利之(34米英) 中間・遠賀支部長
安徳信義(44商) 兵庫支部長
天羽紀大(38商) 岡山県支部長
伊藤洋治(59商) 徳島支部長
脇田祐喜(46商) 熊本支部長
徳重正文(45経営) 鹿児島支部評議員

支部活動功労者表彰決定 兵庫支部幹事長山田紘昭氏(44商)



9月7日(金)開催の表彰審査委員会において、兵庫支部から被表彰者候補として推薦されていた山田紘昭氏(44商)の表彰が承認され、功労賞受賞が決定した。

来る10月28日(日)にホテルニュータガワ、小倉北区、で開催される第62回北九州市立大学同窓会総会の席上で表彰式が行われる予定である。

山田紘昭氏の兵庫支部役員歴は下記の通り：

- H18.7.23 幹事に就任、20周年記念誌編集委員
- H20.7.05 副支部長に就任、事務局長補佐・兵庫支部NEWS補佐
- H22/7.04 副支部長兼幹事長に就任
- H23.7.31 幹事長兼事務局長に就任
- H24.7.07 幹事長兼事務局長留任

現在安徳支部長をサポートし、本紙1月号の年頭所感では「高齢パワー」を発揮して、支部活動の活性化を図り、「三金会」や「歩こう会」にも参加する、と決意表明されている。

今後のますますのご活躍を期待し、功労賞受賞を祝します。

三金ゴルフ組み合わせ決まる 4組15名の熱戦を期待

第37回三金ゴルフは、9月26日(水)にフォーレスト三木ゴルフ倶楽部において開催される。

第32回大会(平成22年4月)以来、兵庫支部・関西支部合同で開催されていたが、今回は関西支部からの申し出により兵庫支部単独での開催となる。

この程松山三金ゴルフ会長から発表された参加者とその組み合わせは下記の通り：

記

第37回三金ゴルフ組み合わせ (08:22イン・スタート)

- 1 組 鷹野哲雄(33商) 名倉勝征(41米英)
松山 仁(44商) 大河内勇(会友)
- 2 組 河野旺生(36商) 葉室新人(41米英)
安徳信義(44商) 謝 美華(会友)
- 3 組 山本信司(37米英) 永翁正臣(41商)
久芳健二(44中国) 真島秀幸(48経営)
- 4 組 村上勝幸(37商) 井上隆令(会友)
高山行雄(45米英)

今回の参加者15人中10人は優勝経験がある。

3回優勝しているのは名倉勝征、永翁正臣及び葉室新人の3氏でいずれも41年卒である。2回優勝は、河野旺生及び松山仁の2氏、そして優勝1回だけの方は、安徳信義、久芳健二、山本信司、高山行雄、村上勝幸の5氏である。ダブルペリアで誰にも優勝チャンスあり、参加者のご健闘を祈る。

兵庫支部月例会「三金会」8月例会



安徳、名越、大村、平間、二宮、山本
8月第3金曜日の17日「三金会」8月定例会が、定例会場の「本館牡丹園」で午後6時から開催され、出席者は6名だった。

出席者は、安徳信義(44商) 名越英昭(37米英) 大村実良(33商) 平間正昭(37商) 二宮慶治郎(38) 山本信司(37米英)



(佳慧ちゃんと明亮さん) 看板娘になることだろう。出席者全員が好々爺になった夜でした。

折しも当店店主夫人明亮さんが、今年2月2日に生まれた長女佳慧ちゃんを連れて来られ、その愛くるしさに話題を独占。母親似に大きなクリクリ眼が可愛らしくて、愛想が良いので間違いなく当店の看板娘になることだろう。出席者全員が好々爺になった夜でした。



「囲碁の会」「将棋クラブ」8月例会

故銭谷支部長が提唱して平成14年1月から始まったリーグ戦も20回目になった。

メンバーは現在師匠の大岡8段を含めて、8人であり、当初に比べ各人共に実力アップ昇級・昇段を果たしている。

師匠大岡8段は平成17年6月から6段としてリーグ戦入りし、師匠自身も8段とられた。

平間初段は3段に、山本3級は2段に、名越5級は2級に、安徳9級は4級に昇級・昇段した。その他の中途から参加し最近欠席がちな前原6級(H15・12月)



(2人を相手の大岡8段)

は3級に、赤松3級(H21・1月)は2級に、そして殆んど対局実績のない河野7級は変わらず。

続けていけば知らない間に力がついてくるようだ。

(例会場風景・将棋盤が泣いています) 今春発足した「将棋クラブ」は8月例会では開店休業状態。現在永翁・久芳の両氏がメンバーだが、もっと多くの人に参加してもらいたいもの。

同窓会総会・懇親会は10月28日(日)

兵庫支部から安徳・山田・高山の3氏出席

北九大同窓会の総会・懇親会は10月28日(日)に小倉北区のホテルニュータガワで、総会は午前11時から、懇親会は12時半から開催される。

安徳支部長兼評議員は前日開催の評議会にも出席し功労賞受賞の山田幹事長は総会から出席する予定である。また兵庫支部内規に基づいて、支部が往復交通費及び懇親会会費を負担して派遣する支部代表1名は、先般内定していた西村洋子幹事が所用の為、代わりに高山行雄幹事(45米英)が出席する事になった。3氏のレポートは本紙11月号に掲載予定です。

「三金会」「囲碁の会」会場ご案内

本館牡丹園

神戸市中央区元町通1丁目11-20
電話 078-332-4588 FAX 078-392-3020

JR元町駅東口海側下車、南へ(大丸方面へ)徒歩1

「三金会」
毎月第三金曜日 午後6時～
会費:3,500円(男性)
2,000円(女性)

「囲碁の会」
毎月第三金曜日 午後3時～
参加費:無料、ドリンク/500円



The Alumni Association Hyogo Branch
of The University of Kitakyushu



Alumnus are most welcome to



SHANTI

Shanti means Peace

INDIAN RESTAURANT SHANTI

JR-ASHIYA 5FL 0797-35-4807

Please access www.ethnic.co.jp

♪今夏も楽しくカラオケ三昧♪ 優勝はやっぱり御堂隆輝氏

関西支部ビア&カラオケ大会



西村 宮本、大塚、大江、中村、大下、永田、渡辺
名越、都留、大道、御堂、青木、田尻

関西支部恒例の夏の行事「ビア&カラオケ大会」が8月24日(金)午後6時から、新大阪ワシントンホテルプラザ2F会議室に於いて開催された。

いつも会場となっていた同ホテル1F隣接の「和佐味」の閉店により、同ホテル2Fの会議室での開催となった。

早目に会場に到着すると、世話役の大江副幹事長が、ジャケットの背中に汗を染み込ませながら忙しく準備を進めておられるのが印象的だった。

定刻になり大江副幹事長から今夜のカラオケ大会の内容説明がある。

いきなり今夜の優勝賞品は(世話役大江副幹事も唄う)2万円相当の当ホテルのペア宿泊券だと本日の目玉を披露。審査員は出席者全員で投票する方式で、3名連記で1位に3点、2位に2点、3位に1点を付加して集計し総得点数で順位を決めるとのこと。19:30までリハーサル時間として各自思い思いの唄を披露して行く。その間に大江氏が各テーブルを廻り、本番のエントリー曲を集めて行く。

本番が始まり、出口氏は所用で途中退出予定とかで早目の出番で、昔懐かしい「快傑ハリマオ」三橋美智也唄を披露し、同じ空手道部OBの大塚氏は石川さゆりの名曲「天城越え」を、そして次から次へと優勝を、ペア宿泊券を目指して熱唱が続く。

姫路から駆け付けた渡辺氏は同期の田尻氏、宮本氏(共に43商)と「花と竜」(村田英雄)を1番づつ交替で唄った。

その他のエントリー曲は、都留氏は「鶴の舞橋」成世昇平唄、青木氏は、「酒と泪と男と女」河島英五唄、中村氏は「なにわ節だよ人生は」細川たかし唄、名越氏は「あん時やどしゃ降り」春日八郎唄、西村氏は「昴」谷村新司唄、大江氏は「竹」北島三郎唄、(花と竜、渡辺氏)



(天城越えを唄う)



北九大軟式野球部準優勝

第35回全日本学生軟式野球選手権大会

九州学生軟式野球連盟代表として出場した第35回全日本学生軟式野球選手権大会は、8月26日~30日に下関球場で開催され、北九大軟式野球部は、2003年第26回大会以来9年ぶり2度目の準優勝を果たした。

1回戦で首都連盟代表の青山学院大学工学部を7-5で破り、2回戦(準々決勝)では東都連盟代表の明治学院大学に6-2で勝ち、3回戦(準決勝)は中部日本連盟代表の愛知大学名古屋学舎を5-4で退けて決勝に進んだが、東都連盟代表の中央大学に5-7で敗れ惜しくも初優勝を逃した。(北九大HPより)



硬式野球部はBクラス転落の危機

九州六大学野球秋季リーグ戦

8月29日から始まった秋季リーグ戦は、第3週を終わり、北九大は、西南大、九大、久留米大と同率の2勝4敗となっている。開幕から6連勝の九国大が首位、4勝2敗の福岡大が2位につけている。

北九大は、九大と久留米大との試合を残しているがBクラスどころか、最下位という危険性もある。

永田氏は「命枯れても」森進一唄、大下氏は「東京の灯よいつまでも」新川二郎唄、御堂氏は「神楽坂」小金沢昇司唄。

全員が唄い終わり投票用紙を収集し、集計の結果が大道支部長から発表された。

6位に青木富重氏(34中国)と呼ばれ上げられ”2位と思ったが…”とのつぶやきが。5位に西村勝弘氏(41中国)4位は大江一正氏(46商)そして3位に中村一弘氏(37商)が入賞し3,000円の商品券をゲット、2位には都留猛氏(32米英)が入り同じく3,000円の商品券と副賞(エプロン)を、そして栄えある1位には御堂隆輝氏(47経済)が選ばれ見事ペア宿泊券を獲得した。

最後に記念の集合写真を撮り、午後9時散会した。



(優勝した御堂氏)

投稿大歓迎

皆様のご投稿を待っています

旅行記、随筆、自分史、短歌、俳句、川柳など
あるいは本紙に対する御意見・御感想、何でもOK

広告大歓迎

掲載料:1/10頁、1回500円

お申し込みは6回分3,000円で御願います

第132回「歩こう会」8月例会

国生み神話の沼島 島巡り

増田照美(40米英)

8月12日(日)に「歩こう会」8月例会が開催された。目的地は淡路の国生み神話で知られる沼島(ヌマ)である。

三宮バスターミナルに集合。午前9時25分発福良行バスに乗り。陸の港西淡へ向かう。あいにく盆と重なり、バスは満員で明石大橋は極度の渋滞。遅れて到着した為、その後の行程を少々変更することになる。

参加者は安徳信義(44商)平雅文(38商)二宮慶治郎(38米英)元田幸治(42商)増田照美(40米英)の同窓生が5名。ゲストは、二宮夫人と娘さん家族の篠塚京子、謙吾、悠真そして平さんの孫の和真。以上大人7名と子供3名、(敬称略)

陸の港西淡には11時過ぎに到着。僅かの事で乗継予定の「らんらんバス」に遅れてしまう。そこで土生港までタクシーで行く事になり、予約したものの、なかなか来ない。このぶんど沼島汽船に遅れそうだが、そこはさすがに二宮会長、その見事な手はずで事なきを得た。土生港では遊覧船勇清丸が待っていてくれた。12時40分沼島巡りを開始。船上で昼食をとりながら、沼島に近づいてゆく。船長のガイド付きである。沼島は土生港から船で10分。周囲10km人口500人ほどの小さな島である。古事記編纂1300年にあたる今年、国生み神話の島として、注目を浴びている。南側の海岸線は太平洋の黒潮をまともに受ける場所であり、奇岩、岩礁がちな。絶好の釣り場らしく、釣り人の姿も、そこここに見える。



(勇清丸船上にて、手前は筆者)

古水の浦、観音バエ、青石などを見つつ、国生み伝説の舞台へ進む。まず、下立神岩が現れる。イザナミの神が降られた時には、高くそびえ立つ岩だったという。安政の地震で折れ、室戸台風で崩壊した岩である。現在は18mで蹲るように海に浮かんでいる。その大きな洞からは悲しみの叫び声が聞こえてくるようだ。その苦悩の歴史を思いやりつつ、平バエへ。海に浮かんでいるように見える長さ90mの巨石である。



(船上から見る沼島のシンボル上立神岩) ばれ、男女二神の象徴とされている。イザナギの神はこちらの岩に降られたという。ふたつの立神岩の間にある平バエは、二神の契りの場である。

次はいよいよハイライト上立神岩である。古代より変わることなく海中に矛先のように直立している高さ30mの岩、勇壮な姿である。神話では下立神岩と共に「天の御柱」と呼

雄大な古代ロマンの世界に別れを告げ、船は黒崎にある鞘型褶曲へと近づく。1億年前の地球の「シワ」が残る珍しい岩石である。想像を絶する時の流れに圧倒されつつ、同心円構造の不思議なシワを眺めた。

これで約40分の周遊を終え、沼島に上陸、島を散策する事になった。

(島を横断する道を歩いて) 島の中央を横断する道路を歩くこと約30分、今度は陸から上立神岩を見ること。途中、揚羽蝶や蜂などに出会いながら、ゆっくりと海を目指す。

地上からは二つの立神岩や平バエが同時に見え、国生みの舞台が一望できる。古代の人々が描いたロマンの世界を満喫し、一同で写真におさまる。

(上立神岩(右下)を眺めて記念写真撮影)

16時発の船で土生港へ。福良までは「らんらんバス」で移動。閉店間際の店で海産物を購入。その後、一同揃ってレストランへ。サザエのつぼ焼きやイカの串焼きなど新鮮な海の幸に舌鼓を打ちつつ、和気あいあいとしたひと時を過ごした。

(地場の海産物で一杯)

すぐ前に8月8日にこけら落しをしたばかりという淡路人形館があり、その正面で最後の記念写真撮影。

最初ははにかみがちだったお子どもたちも、すっかり打ち解け、仲良くなって、一緒に遊んでいる。とてもいい光景だ。

バス停では「待つことの多い一日でした」と気遣う人に「人生は待つことです」と応じる人。心地良い会話を聴きながら、たそがれの福良を後にする。

帰りの高速バスは、渋滞も無く、順調に走行。20時三宮に到着。

(平和真、篠塚謙吾・悠真の3人) 神々の島、沼島への楽しく、充実した度を終えた。(完)

